

第 62 号
 発行日:平成30年5月1日
 発行所:
 東京青山同窓会事務局
 〒111-0032
 東京都台東区浅草 3-8-2-1101
 工藤 義夫 (74回)
 e-mail:kudou74@tokyo-aoyama.org
 TEL:090-1704-2413
 発行者 日下部朋子 (82回)

東京会報

東京青山同窓会
 -東京青山同窓会年間維持費-
 1口1,000円/2口以上(年間)
 会計幹事:川上康夫(79回)
 振込先:極力①でお願いします。
 ①郵便振込口座 00150-9-4074
 加入者名 東京青山同窓会
 ②三井住友銀行京橋支店 番 8430640
 東京青山同窓会 会計幹事 川上康夫

『第2回・カジュアル ますらお会』報告 ♪ 秋のゆる～い 親睦会 ♪

平成29年11月11日(土)於・有楽町居酒屋「番屋」 工藤義夫 74回

従来、春秋の年2回開催していた同窓会を昨年春の年1回に統合した折、秋もやりたいとの若手からの要望もあって、昨年からは秋にカジュアルな親睦会を始めました。今回も11月の夕方、第2回「ますらお会」に幅広い有志が集いました。

若手学年幹事の122回卒・田中麟太郎さんと中年世代の90回卒万年幹事・森豊さんの提唱で、東京青山公認の会として当面続いています。

今回は、学生の皆さんの参加がやや少なかったものの、春に参加できなかった新しい顔も見えたりして、世代を越えたおしゃべりや新情報も得られたりもしました。

春の総会・新人歓迎会とはまた一味異なる賑やかな会となってきたようです。そして最後に今回は、新旧校歌斉唱～ますらお合唱～エール

交換までフルコースの喉声を発揮し、畳敷きの室内にはしばし余韻が覚めやりませんでした。

同窓会も時代の流れの中で、今後は転換期に入るかもしれませんが、それでもまた、新しい風の中であるいは生き続けてゆくのではないかと思うところです。

60回代の世代から団塊(74～76回)世代がいずれ近いうちには退場してゆくあとは、80回代以降の世代で盛り上げて行ければと願うところですが…いや、それは、次の世代に委ねることになるので新しい形は彼らのやりかたに期待しましょう。

しかながらし、青壮年世代の中にも少なからず、参加してみたい人がいるであろうと思いつつ、次回以降も、新しい顔～見たことのある顔～忘れていた顔等、次なる邂逅がき

同窓会は“春1回” ～“総会”兼“新人歓迎会”～ (今年から会場が変わります!)

と待っているに違いない…。あるいは、卒業以来初めてなんてこともあるかも知れませんね。場を共にして青山の各世代の人達に出会うのも楽しいと思います。

世代別人口はピーク時(団塊世代)と今とでは半分～1/3ですが、青山卒は毎年4～5百人はいて内3割以上は首都圏に来ています。

多忙な時にこそ、ふと東京青山会に出て往時の志など振り返っては如何でしょうか？

◆ますらお会出席者→

◆ハイライトは9頁にも。

卒回	氏名
59	小村幸久
62	渡辺千里
64	坂井俊一
64	星 満
67	鶴賀政行
74	池 一
74	大滝 均
74	工藤義夫
74	坂井 靖
74	中村義一
74	西田百合子
74	藤田廣子
79	星名健二
81	成瀬孝二
84	島津 孝
89	小山信也
90	紫竹俊行
90	森 豊
90	齋藤 彰
90	坪井 俊樹
90	渡邊修也
101	小田和哉
102	尾口優子
102	廣瀬千尋
103	廣川 俊之
104	佐藤 晃
113	山内沙織
113	内藤美沙紀
120	宮本真理子
122	田中麟太郎
122	金巻恭弘
122	八代 司
123	若杉 響
124	武田恒太

“老若男女34人が集い”・・・♪ 丈夫魂 いまここに♪



平成30年度 総会・新人(126回卒) 歓迎会のご案内

日時

平成 30年 6月15日 (金)
受付開始 ; 18時～。 開会 ; 18時半
開催時間 ; 18時半～ 21時半 **ゆったり!**
(フリードリンク ; 19時～21時半)

“新”
会場

**日本プレスセンタービル10F
レストラン「アラスカ」**
千代田区内幸町2-2-1
TEL. 050-5589-8667

(一部、値下げしました!)

新人の皆さん!
お待ちしております

会費

男性 ; 6,000円
女性 ; 5,000円
学生 ; 3,000円
新人 ; 2,000円 (126回卒)
☆別途年会費納付も可(2千円)☆



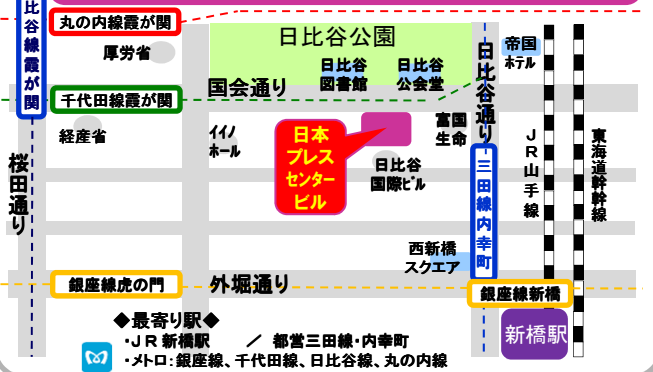
プログラム

- ◇総会・新人歓迎会◇
高校長と旧3年担任、青山同窓会役員様ご出席予定。
- ◆講演会◇講師 ; 吉田真吾氏 (85回卒) ◆
- ★ミニコンサート ; 今井あい氏 (105回卒) ★
特別出演 ; コラトゥーラ・ソプラノ～パリ在の歌姫
- ◇懇親会◇着席ビュッフェ

★126 回卒の新人の皆様へ

- ・新住所の届け未了の方は実家へご案内を 郵送しました。転居先のご連絡・電話・e-mail変更時は事務局にご連絡を。
- ・郵便は必ず読み、会欠等 e-mail 等で送信願います。次回から、基本は e-mail での連絡に切り替えます。

アラスカ ; 日本プレスセンタービル10F



●今回は本会で1・2次会兼用。別途2次会は各自で。

年会費の「振込口座」など

ご氏名と卒回とを必ずご記入ください!

- 1) 郵便振替口座 ; 極力こちらで振込願います
00150-9-4074 東京青山同窓会
- 2) 三井住友銀行 ; 京橋支店
普 8430640 青山同窓会会計幹事 川上康夫

◇講演・講師紹介◇

◆吉田 真吾 氏【85回卒】

東大地震研教授、地震火山噴火予知研究推進センター
テーマ ; 『1964年の新潟地震』
知られざる側面や、3.11東日本大震災、
近づく南海トラフ・首都直下各地震にも。

★横顔紹介★

地震発生の物理的解明に取り組む。
岩石破壊実験等を通じて地震破壊
過程と物理現象の相互作用、アス
ペリティ(プレート境界固着とすべり)との相互作用等の理解を深め研究を進めている。



★パリからの歌声★ “今井あい” ミニコンサート コロラトゥーラソプラノ声楽家

パリとNYCで声楽を学んで、現在パリに定住し、
ソプラノ歌手として欧州等で精力的に活動中。
～パバロッティやドビュッシーがお気に入り～
「夢は平和と愛で人々を幸せで繋ぐ、そのため
に歌う」。日本の素晴らしさを振り返り、日本歌曲
を通じ美しい日本の心を伝える活動も続ける。
青山105回、学習院大法学部卒、外交官を目指す傍ら、
歌の才能を見込まれレッスンも受講～。



★番外 ; 9月国内コンサート予定★ 皆様もぜひどうぞ!
9.8 新潟県民会館大ホール / 9.19 神奈川県民ホール

～お知らせ～

- 事務局通信 ;
- ◆同窓会開催用住所リスト ; 事務局 (1学年 : 3,000円)
- ◆偶数月第二火曜日の会 ; 申込み不要・有志の飲み会。
H30 : 6/12, 10/9, 12/11 ~ H31 : 2/12, 4/9, 6/11
毎回18時頃より ◇日本海庄や・上野店
(上野6-14-6 山田ビル4階 / 電話 03-5807-1921)
場所も時間も固定です。ぶらりとお立ち寄りください。
- Webサイト ;
◇東京 : <http://www.tokyo-aoyama.org/>
◇本部 : <http://www.aoyama-dosokai.com/>

事務局 “よろず” 窓口

東京青山同窓会事務局 ; 工藤義夫 (74回卒)
〒111-0032 台東区浅草3-8-2-1101
em ; 事務局 kudou74@tokyo-aoyama.org
個人 plutarchoshannibal@yahoo.co.jp
Mobile ; 090 - 1704 - 2413

H30年度総会・新人歓迎会 平成30年6月15日(金) アラスカ (日本プレスセンタービル・10F)

予定 ; H30年カジュアル「ますらお会」平成30年11月頃(場所/曜日/時間 ; 未定)

会長挨拶

東京青山同窓会会長 佐藤 信秋74回



今冬は、東京にも雪が降り、新潟市も1月早々豪雪に襲われるなど、大変な様子でありましたが、皆様如何でしたでしょうか。我々雪国に育ったものは、荒波とどんよりとした雲と、雪が降るのは当たり前、と受け止め、ねばり強い、人情味ある県民性を育んできたものなのでしょうね。

しかし、開港150周年を迎え、人口減少、高齢社会を前にして、遠慮深い県民性の良さはともかく、新潟の良さを宣伝して、もっと沢山のの人に訪れてもらい、住みついてもらい、活力のあるにぎわいの港町、拠点にしていきたいものですね。我々1人1人が機会をとらえて広報、宣伝に努めましょう。

【～参考：東京青山同窓会・歴代会長等～】

歴代No.	就任		卒回	氏名 (在任;年)	在任年	備考
	西暦	和暦				
						※旧制新潟中学開校;1892(M25)
1	1962	S37	7	山内 保次	6	元・陸軍将官(日露戦争時) ◆S37;東京青山同窓会・役員選定 ◆～49回卒 世代会結成 ※1965(S40);「青山会報」創刊 ◆S40;東京同窓会結成(～49回卒) ◆S41;東京同窓会結成(50回卒～) ◆S42;東京同窓会 初開催/新旧別個 ◆S43;東京青山同窓会結成/新旧合同
2	1968	S43	28	早山 洪二郎	4	元昭和石油社長
3	1972	S47	30	山添 直	1	元小田急電鉄、小田急不動産社長
4	1973	S48	30	木村 逸郎	4	
5	1977	S52	34	山崎 重三郎	3	元陸軍中佐(山崎機関)
6	1980	S55	40	南学 正時	7	
7	1987	S62	44	斎藤 伸雄	11	元和光証券社長(現・みずほ) ◆名誉会長(～2002年); 斎藤英四郎(36回卒) 元新日鉄社長、経団連会長
8	1998	H10	59	栗林 貞一	11	元運輸省局長、元海上保安庁長官
9	2009	H21	70	猪口 孝	6	元東大教授等、元国連大学副学長、 前・新潟県立大学学長、現・桜美林大
10	2015	H27	74	佐藤 信秋	現役	元国交省事務次官、 現・参院議員

平成29年度決算および30年度予算

(H29年4月1日～H31年3月31日)

平成30年3月31日現在(金額:円)

摘要	平成29年度 決算 (～H30.3.31)	平成30年度 予算 (～H31.3.31)	備考 (H30年度分)
期首現預金残高	1,513,365	1,633,997	
収 入	年会費	1,135,000	900,000 450人;前期*0.9
	總會費	749,000	600,000 総会兼新人歓迎会 (会場変更;100人)
	本部補助	100,000	100,000
	雑収入計	60,000	0
	受取利息	11	11
合計	2,044,011	1,600,011	
支 出	總會費用	1,228,044	700,000 総会兼新人歓迎会 (会場変更)
	第3回ますらお会補助	44,400	40,000
	会報通信費	535,409	500,000 2回分;郵送数減。 印刷等;外注→内製
	事務局費	64,000	64,000
	予備費	0	100,000 現行ホームページの 機能回復、利用促進
	会議費	0	13,000 2回
	手数料	50,526	50,000
	雑費	1,000	1,000
消耗品	0	0	
合計	1,923,379	1,468,000	
期末現預金残高	1,633,997	1,766,008	

注1) 会計年度期間;平成30年度(H30.4.1～H31.3.31の1年間)

★事務局からのお知らせ★

・次回会報へ投稿のお願い

同期会、部活会、スポレク、趣味、体験記、旅行記、地域会、新会員紹介 等何でも。(400～800字程度。写真もあればなお歓迎)

・連絡先変更時はご一報を!

住所、電話、e-mail、氏名等。

・年会費ぜひお願いします「2千円」

(※ 1千円でも可です)

振込先は、1頁右上と2頁にも記載。

★特に、若手会員さまへ★

学業、仕事、家庭など多忙で、同窓会ごとき? でしょうが、連絡先等変更時はご連絡ください。

～ その他、何でもお問い合わせください! ～
事務局・工藤義夫

e-mail ;
事務局 kudou74@tokyo-aoyama.org
(個人 plutarchoshannibal@yahoo.co.jp)
Mobile ; 090-1704-2413

70回卒・東京同期会報告 ～ 70代“半ば”はまだまだ！～

花輪 治 70回卒

(おことわり; 本稿は「青山同窓会報・第106号・平成30年1月1日」に掲載済ですが、寄稿者の花輪治様の許可を得て、東京会報にも掲載するものです。なお、70期の同期会は新潟と東京で毎年交互に開催の由。以上 東京青山同窓会事務局・工藤 記)

平成29年11月11日(土)に70回生の東京同期会が開催されました。会場は文京区湯島の東京ガーデンパレス。飯利先生のご都合が許さなかったため、初めての恩師不在の同期会となりました。出席者は29名、うち女性が8名でした。定刻直前に会場にたどり着いた1人は入院中の病院を抜けだしてきたということでした。

新潟の同期会に出席が困難な首都圏在住者を対象に昭和58年に第1回を開催以来16回目となりました。今回は新潟から2名、京都からも1名出席していただきました。

開始時間は、出席者の年齢(73～74歳)を考慮して足許が明るい午後零時。まずは記念撮影。クラス別と全員、カメラも4台あり、顔を緩めたり引き締めたりのひとつきを過ごして、幹事を代表して金子正史さんが開会挨拶、そして遠来の熊田直子さんの音頭で乾杯と進みました。

懇談会食たけなわの頃から出席者全員の近況報告に移りました。1人3分でお願いしたのですが、1～2分で遠慮してくださる方がいる一方で、1～2年間題材を暖めてこられた人が10数分もの「報告」を続けることもあり、最後の29番目の終了が午後3時10分前。テーブルを離れて自由に語り合う時間が残念ながらわずかばかりになってしまいました。

そんな中でも話の輪がいくつもできて最後まで賑やかな会場でした。

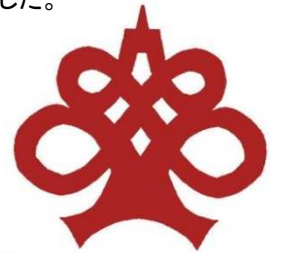
“戦中生まれ”の今

午後3時、新潟から駆けつけてくれた笠原大仙さんの発声により「丈夫」の大合唱、そして2年後の再会を期して散会となりました。

3時間の同期会ですがあっという間の出来事に心残りの皆様は三々五々、銀座方面などへと秋のお茶の水を後にしました。

【今回幹事】

- 加藤邦紘、
 - 金子正史、
 - 土田 進、
 - 花輪 治
- 以上 4名



70期 & 70ty's +



新潟高校第70回卒業・東京同窓会 ～ 出席29名
平成29年11月11日(土)
ホテル・東京ガーデンプレイス～湯島

90回卒・東京同期会報告 ～ 50代“半ば” 漲るチカラ！ ～

～ 50歳で突如、大同団結し始まった「90期東京同期会」は以降毎年開催で4回目 → まますます熱い集まりに！ ～ 森豊 90回

90期東京同期会は毎年顔ぶれを替えた10人程の幹事団を組織して開催している。幹事団は一つのクラスのようなものだ。故に彼らが企画する同期会本番は、その性格を前面に出した文化祭的なイベントとなるのである。

昨年の第4次幹事団は国立文系・理系の香りがする、慌てず騒がずの冷静沈着軍団である。そんな彼らは考えた。今回は幹事団のマンパワーに頼らず、優れたインフラを持つお店を選んで開催するというのだと。

代表幹事・大嶋昌宏により白羽の矢が立ったのが銀座八丁目『Bee GINZA』。このお店の売り「セレヴィ」システムを使ってクイズ大会をやる。母校と新潟に関する問題をリケジョ幹事・篠原直子が考案。入賞者への副賞は境川親方夫人・小林美奈子が境川部屋グッズを調達して準備完了だ。

平成29年8月26日、15:30の受付から乾杯の16:30までウェルカムドリンク無制限の太っ腹なお店で第4回東京同期会が開宴した。この日の為に1年前から予定を入れ、海外から来てくれた白川裕が乾杯の挨拶。次は参加者持込企画である。臼井樹子・池田美弥子による手作りアクセサリーの展示即売会。さすが臼井と日本画家・池田、見事な意匠だ。

メインのクイズ大会は某TV局のオールスター大感謝祭方式だ。時間の関係で5問の短期勝負。優勝は軟式庭球部・渡辺修。偶然上位に軟式庭球部が顔を連ねる。同じ釜の飯を食うと思回路が似てくるものなのか。そして恒例次期幹事団の選出へ。セレヴィの別の機能、ラッキースロットがなぜか都合よく幹事未経験者を当てる。10人目が万年幹事(小生)に止

人生百年“折り返し”

まったところで「ヤラセ疑惑だ」の野次がバスケ部・樋口正史から飛ぶが、丈夫斉唱とエールで封じてしまう。リードの渡辺正明団長と穴沢雅明副団長は本物、残念ながら欠席の歌代真人副団長の代理に同姓の歌代幸子が立つのはもはやお約束だ。

さて次期幹事団は決まったが、今年5年毎の新潟での大同窓会が10月に予定されているため、東京同期会はお休みである。来賓の佐藤雄一郎・新潟代表幹事(会費は頂いた)の目に異様な進化を続ける東京組はどう映ったことだろうか？今から秋が楽しみである。

(文中、敬称略)



臼井樹子 前田正子

厚地淳 大嶋昌宏 原口誠 小林到 佐藤之彦 江口順一 渡辺正明 伊藤寿 島田真由巳 中郡比呂志 小林良輝 紫竹俊行 斎藤直樹 白川裕
雨宮喜美子 中原久子 工藤裕人 保裕裕之 塙伸一 高橋寧 長谷川裕 川上進 勝山達志 前川信介
歌代幸子 山内薫 木村和人 小林比呂美 池田美弥子 川名滋美 渡邊修也 渡辺修 斎藤彰 関根康弘 樋口正史
篠原直子 佐藤雄一郎 田中肇 坪井俊樹 斎藤結花 市川まゆみ 齋藤真弓 深川充子 谷口ふじみ 小柳真奈 志佐千賀子 穴沢雅明
森豊 小林美奈子 武士田弘美

注) 下線 : 今回幹事団(11名) ※お詫び: 5月初旬会報郵送時の氏名誤・2名→訂正済(工藤様、臼井様)

新潟高校第90回卒業 ～「第4回」東京同期会～ 出席53名
平成29年8月26日(土) 16時～
Bee GINZA にて

～ “女子も台頭する” 東京青山柔道倶楽部の会 ～

東京青山初登場 ～ 新進気鋭 ～ 柔道部女子のくさわけ ～ 興味津々のルボ

尾口 優子 (102回)

はじめまして！102回卒の尾口優子です。旧姓は「鈴木」と申します。

「鈴木」に「優子」と平々凡々すぎる名前だった上に、高校時代はひたすら柔道に明け暮れ、柔道場でしか過ごした記憶がない。

さらに高校を卒業してから四半世紀も経つというのに、小中高大と通して同窓会らしい同窓会に一度も出席したことがないという三重苦の私だったので覚えていない方がいらっやったら、よほど記憶力の良い方かと思えます。(笑)

そのような私ですが、昨年9月25日に開催されました「東京青山柔道倶楽部」の総会に思いがけず参加したことをきっかけに、光栄にもこちらの会報に寄稿させて頂くこととなりました。

そもそもそのような会があることも知らず、柔道とも無縁の毎日を送っていたところ、柔道部の1学年上の先輩より突然「柔道部の総会があるから、明日までに欠の連絡をせよ」という旨の連絡が届きました。

「総会？何それ？というか、知っている人いないだろうし…おじさんばかりかもしれないし…」と。自分も中年の仲間入りをしていることをすっかり棚に上げて、一旦は躊躇したものの『先輩命令絶対服従』の柔道部ですから断る訳に

もいきません。意を決して出席の返信をし、総会当日はドキドキしながら会場へ向かいました。総会会場に着くと、真っ先に目に飛び込んできたのが「東京青山柔道倶楽部さま」という、仰々しい歓迎看板。自分が柔道部だったことを久しぶりに思い出し、何やら苦笑してしまいました。

「昔やっていたスポーツ話」になると、必ず「え～柔道やっていたの！？見えないね～」と驚かれるのが、「女らしいね～」と同意語だと思って喜んでる私なのです(笑)。さてさて、一体どんな猛者たちが待ち構えているのだろう、と思いきや、出迎えてくれたのは礼儀正しい若き女子！テキパキと丁寧に受付をして下さるその姿は、さすが礼儀を重んずる柔道部。ん～素晴らしい！

当初心配していた通り初対面の方ばかりでしたが、すぐに打ち解けて、昔話に花を咲かせたり、お互いの近況報告をし合ったりと、あっという間に3時間が過ぎました。

参加最年長は58回卒、最年少は123回卒と、その年の差は実に65歳。大先輩たちからは貴重な人生の体験談を伺い、若者たちの元気な姿からはフレッシュな気持ちを思い起こさせて頂きました。

総会の締めには校歌、「ますらお」を全員で歌い、感動もひとしお。ますらおを歌ったのは一体何年ぶりでしょう！？お酒の勢いもあってか、帰りはますらおを鼻歌で歌いながら家路についたほどでした。(その後も、YouTubeで「ますらお」を検索し、青陵祭の動画を何回も観ちゃった♡)

この東京青山柔道倶楽部の総会以降も、ご縁あって「第2火曜日会」や「カジュアルますらお会」などにも参加させて頂き、改めて新潟高校卒業生の強い絆を感じ、また同じ卒業生であることを誇りに感じております。

しかしながら、どの会に参加しても耳にする「空白の世代」(100回生前後の参加者が少ないそうです)というキーワード。私自身つい最近までその「空白の世代」の一人だったわけですが、せっかく同窓生の皆さまと繋がる事ができたのですから、その空白を埋めるべく、微力ながら同窓会を盛り上げてまいり所存です！と、格好良いことを申し上げましたが、柔道部以外の友人がいない私なので、どこかで顔を合わせる機会がございましたら、皆さまお気軽に声をかけて、まずはお友達になってくださいね～！それでは今後ともよろしく願いいたします♪



“キーン誠己”～古浄瑠璃の縁～いま養父ドナルドと共に

勝手に紹介する本 / ～文楽義太夫三味線奏者;5代目鶴澤浅造/越後角太夫(旧姓;上原誠己氏)～青山77回卒～

ドナルド・キーン/キーン誠己 共著
「黄犬(キーン)ダイアリー」

2016年10月 出版

◆日本人ドナルド・キーン◆

ニューヨーク出身の日本文学と日本文化の著名な研究者。御年95歳。

16歳で英訳「源氏物語」に感動、漢字への興味から日本語を学び、以降日本文学の研究に傾倒。特に、近松、芭蕉、三島から現代文学まで幅広い。

太平洋戦線で海軍の日本語通訳官を務め、戦後、コロンビア大学に復学、さらに京都大学留学後、コロンビア大学に自身の名を冠した日本文化センターを設立、日本文化を教えた。

東日本大震災を機に退職後、日本国籍を取得、永住を決めた。戦中捕虜の日記中の“故郷に帰りたい”に日本人の葛藤を理解し、空襲後上野駅の疎開列車に整然と待つ姿から“この人々と共に生き死にたい”との若い作家の文章に感銘したという。

◆ 本の内容 ◆

2012年日本国籍取得の日本文学研究者と養子誠己の親子のエッセー。

第1部ではキーン氏の浄瑠璃や『源氏物語』などへの愛着、谷崎潤一郎や三島由紀夫らとの交流、彼らにノーベル文学賞の可能性があったかなどが語られる。2部では誠己氏が90歳を超えた父との旅や健康の秘訣等を書き留めたもの。

表題の「黄犬」は「黄色い犬=黄犬(きいぬ)=キーン」という言葉遊びから付けたという。



ドナルド・キーン キーン 誠己



“黄犬”キーン!

◆養子;キーン誠己/旧姓・上原◆

浄瑠璃三味線奏者,5代目鶴澤浅造。家業は上原酒造の蔵元(越後鶴亀)。青山77回卒。東京外語大仏語科卒。文楽義太夫節三味線方の世界に入り、後に、越後角太夫を名乗る。

日本文学者のドナルド・キーンから、浄瑠璃など古典について指導を受けたのをきっかけにドナルドとの交友を深め、養子になるよう申し出があった。ドナルドが日本国籍を取得し、戸籍上の本名を「キーン・ドナルド」と称し、養子縁組で誠己は「上原」から「キーン」に改姓。今は私設秘書も務め、高齢の世話もしながら生活している。

キーンも新潟との深い縁で、古浄瑠璃・弘知法印御伝記の300年振りの復活公演を柏崎で行った。

~~~~~  
ご存じかも知れませんがご紹介まで。

# 新著紹介 ～ “震災地を歩く” ～ Showay☆著

～ 撮った、歩いた、26日間、880km ～ 東日本大震災の被災地への鎮魂と復興の希望、エールを込めて 星野紹英・84回

## ◆ 自費出版の経緯 ◆

著者星野紹英が、還暦を迎え人生で初めて自費出版したお話を少々。

東日本大震災から7年、震災後から未曾有の災害を受けた被災地を巡り、東京青山会報でも数回にわたるルポを寄稿した。今回それらも含めあらためて、東北地方沿岸部松島～八戸間を歩き通した見聞を、紀行文と写真等まとめた自費出版について紹介します。

「撮った、歩いた、26日間、880km」  
「松島から八戸まで歩いた旅の記録」  
「精選の写真と独特な筆致の絵日記」

これらの帯を飾る見出しで内容をイメージします。2012年12月～2015年7月の正味26日間の歩き旅を紀行文・歩行地図・写真等で構成しています。

歩き旅は20年来の趣味ですが、今回は都度1日2頁の紀行文を書き、そこから選んで原稿を作成し、以前新聞で見かけた自費出版広告と、弟が先年自費出版した経緯も参考にして、出版社に持ち込み相談し、相互に条件を確認した上で、出版を決断した。

2017年12月末に完成本が届き、250部の作成を依頼した。

2018年1月から訪問地へ「献本旅行」で各自治体の図書館等をまわり、早送釜石駅からは手書きの礼状も届いた。  
★発売 2018年2月15日。文芸社★

## “人生初の自費出版”

### ◆本の表紙と著者・星野氏近影◆



# 撮った、歩いた、26日間、880km

松島をスタートし八戸までを自らの足で歩く旅の記録。  
選りすぐった写真と独特な筆致で綴る絵日記風紀行文集。

東日本大震災の被災地への  
鎮魂と復興の希望、エールをこめて

文芸社◎定価(本体1,800円+税)



# “東京青山 H29年・忘年会(=12月・火曜会)”～多士済々

～ 偶数月の第2火曜日の会＝自由な飲み会・・・好きな時、好きなメンバーが集まり語り合う～ (記：工藤義夫・74回)

東京青山の行事では「偶数月第2火曜日の会」というのが恒例である。

先々代の栗田会長の声掛けで、総会や新人歓迎会以外に、ふらっと立ち寄り同窓生と親しく懇談する場が続いています。

ときどき、幹事会なども兼ねて事務連絡や次回の総会の準備なども話し合うこともありますが、いつでも自由に参加できる会です。

昨暮れからは、ちょっと場所を変えたりしましたが、情報交換の場でもあります。

主に学年幹事さんには都度ご案内していますが、無論、一般会員でも自由に参加してほしいと思います。

新年会では会計報告と監査も報告されています。

昨年は、予定通り年5回開催。2月の新年会、12月の忘年会も兼ねています。

時々思いもかけない方々が見えたりしてミステリアスな時もありますよ。

毎回欠かさず顔見せし熱い談義アリ、時には谷間の世代(サイレントジェネレーション)と呼ぶ95～105回卒の中から突然参加アリ、というようなできごともある、なかなか楽しみの会ではあります。

今後も、つないで行ければと思います。

どうぞ、皆様、ときどき顔を見せてください、いつでもお待ちしております。

## “H29新年会”会計報告・川上幹事



## “H29忘年会”



平成29年もあと間もなく～平成の次の年号は？・昭和は遠のく！  
1年お疲れ様！ “火曜会”は続く！ 尾口優子(102回)さん残念！



田崎正巳/84 島津孝/84 佐藤茂/77 野口俊介/84 堀清忠/71 増子則義/95 小田和哉/101 山崎健太郎/95 佐藤晃/104  
坂井靖/74 成海孝二/81 遠藤治一/64 日下部朋子/82 高橋正幸/64 星野紹英/84 斎藤彰/90 工藤義夫/74 (他:関佑樹/113)

H29年・忘年会(火曜日の会)～東京青山同窓会～ 出席18名  
2017年12月12日(火) 日本海庄や・上野店



# H29年秋 カジュアル ますらお会 ~ ハイライト (P1続)

## “ますらお~新旧校歌” ~ “ワカモノとオトナのコラボ”



### <二次会：有楽町Cafe & Dining>



# “2017夏・在校生東京研修レポート(抜粋)” ～全9箇所～

～東大(模擬講義含)、財務省、文科省、ANA、清水建設、共同通信、三菱商事、DeNA、日本IBM～新潟高校進路指導・近藤善龍先生

## 各研修先で 青山OG,OB達が ご案内していただきました!

### ◆東大模擬講義◆



武田洋幸(85回)他

・武田教授;細胞分裂の様子の説明で映像を見ながら“ワクワクしますね”と、とても楽しそうに話す姿が印象的。背中と腹の形が互いに影響を与え合い魚の形が決まるとの意外性、遺伝子に興味を湧いた。1つもの追求することの楽しさを教えていただいた。

野崎教授;直接お話は聞けなかったが、メッセージから文化を味わうことがどれほど面白く大切なことが分かりました。東大生も知識が幅広く様々な事に興味津津なことが感じられます。知るということ、色々な分野を楽しむことで、キラキラ輝く中身の濃い人生を送ることができるのだらうなと思いました。私も自分の庭を耕せるようにしたいです。

・吉田教授;研究の根は「真理への探求心」で「役に立つかどうかではない」という言葉や原理の根本的な理解は必ず社会の役に立つと歴史が証明しているとの言葉は力強く響いた。新潟高校のモットー「社会貢献」と「真理探求」が私の中でやっとながり、自分が目指す宇宙に自信を持た。実際に研究を進めてきた先生の語る姿は生き生きと輝いて見えた。各研究も、アスペリティーの存在や、地震誘発条件、生命進化における酵素の在り方など興味深い事実が多く、どれも真理追究の心の成せる業で、いずれ社会の役に立つと思う。私も心を広く自分の庭を耕し自信を持ち目標に向かって行きたい。

◆東大青山会との進学座談会◆在学生などの先輩も自分をしっかりと把握し、様々なところから吸収しながら試行錯誤して自分なりのやり方を見つけ出してきて。先を見据えすべきことの計画を立て、得意も不得意も伸ばせる工夫が今の自分に必要。勉強の仕方は、特に解法証明の意味を「自分で考え」整理することが大切と。今すぐ実践したい方法を他にもたくさん教えてもらった。まだ今なら間に合う、頑張ろうと勢いがついた。東大を目標にしてゆくにあたって、自分なんてという恥じらいは捨て積極的に他者からの吸収を大事に心を入れ替え努力したい。

### ◆財務省◆案内;



佐野( 回卒)ほか

お二人方も誇りを持ち楽しく仕事をしてると感心した。国債については政府に対する考え方が少し変わった。国債を莫大に膨らませたこと、借金があるのに大事業を行う政府や政治に不信感があったが文句は簡単でも、国の為に議論し政策を打ち出す大変さを感じた。佐野さんも国債に打つ手がなくなってきたと言われている。傍観者のように文句ばかりでなく、自分もそれに向き合っていけたらと思います。多くの大切なことに気付かされ、ありがとうございました。

### ◆文科省◆案内;



中野理美(99回卒)、他

文科省の4大柱は教育・科学技術・文部科学省スポーツ・文化。中野理美さんは教育面や文化面の部署の活動内容を説明。省内外は異動も多く、男女共同参画から宗教や海洋学等も学べ、様々なものの見方ができると感じました。「どんな仕事に就きたいか?」、「将来のライフイベント」の両立にはどうするか?を、高校生のうちから考えてほしいとの強いメッセージや、男女比ではまだまだ女性の少なさの話が印象に残った。

### ◆ANA◆案内;



西田良一(104回卒)

広く多岐にわたる羽田空港内を紹介。パイロットの勤務時間に時差、徹夜は当たり前、体の健康保持が一番重要。国内線は一日1000便、飛行機の安全運航に多くの人の多岐な仕事に関わると知る。シフト制で勤務時間は不規則で大変だが、乗客の命に関わる仕事は、スケジュールはOFFが多めな工夫もされている。今回研修で多くを教えて頂いた西田さんのように、社会で夢を叶えられたらいいなと思います。

### ◆清水建設◆案内;



吉井正行(87回)

清水建設の「高さへの挑戦」をモットーにした活動を知り、興味が湧いた。高さ1000mの海上ビル建設計画は沈んだり転覆したり、そんな面を考えると無理のようにも見えるが、実現可能(資金面以外)と聞き、技術進歩に驚き。「家やビルを建てる」それだけではなく、とても創造的な活動や工夫がたくさんあることにも驚きました。ビル階段の下に空間があり、地震が来ても「免震」で守られる素晴らしいアイデアだと思えます。

### ◆共同通信◆案内;



地方紙と地方紙とを橋渡し大変重要な役を担い、地方紙が派遣が難しい世界を知ることができるのも共同通信社のおかげと知った。共同通信社の提供記事を今度は地方紙が加えて出すというのも驚きでした。様々な部署が仕事をしていて、英米語、中国語に直すためアメリカ人、中国人もいて、支局も海外にあるということで、国際性にも長けているのだなあと感じました。現場を見て自分自身で考えて伝えることが記事だとおっしゃっていた。ネットなどで、他の記者の記事を見て情報を得るのは二流で、あくまでも記事はその記者自身の目を通してその出来事を書いたものでしかその真実を伝えることはできないと。このような気持ちで、私たちに情報を伝えて下さる人がいることを、これからも情報に出会う数々の場面で思い出したい。

### ◆三菱商事◆



案内;本間奏(112回卒)

三菱商事訪問は今回の研修で一番楽しみにしていました。高1から商社に興味を持ち、今回実際に働くOGのお話が聞ける得難い機会。本間さんを初めて見た瞬間なんてカッコいい人だと思いました。自分の就きたい仕事に就き、やりたいと思ったことをどんどん積極的に挑戦する姿はキラキラして、人としてカッコいいなと強く感じた。また、男性が多い職場でも負けず働き、家に帰ったら“お母さん”で家事もこなし子供の1番の味方で、女として本当にかっこいいです。本間さんのお話で、私の夢が広がりました。10、20年後、次は私が社員として東京研修で高校生に夢を与える話ができるよう今を精一杯やります。

### ◆DeNA◆案内; --



幾つかの印象。1つはブラック企業並み残業有無には、長時間残業でもクリエイターのプライドで完成形の質をより高めたいなら残業がツライとは思わない。考え方ひとつ変わると見える世界も変わると感じた。同時にプライドを持つのも大切と。パソコンから携帯、スマホへと変わり、2年前から新作ゲームを考案中と聞き、先の発展や時代背景、流行予測が大切だと思った。実際ゲームをつくるゲームプロデューサーのお話で、ゲームができるまで様々な人達が関わり様々な工程を経るとわかった。また働く環境をとて大事にし、会議は立ったまま短時間で効率良く、社内カフェや飲食スペースもあり、より仕事がかかどる仕組みを通じ、社全体で向上に取り組み姿勢を知った。IT企業での「スピード重視」は全く思いつかなかった視点だった。動きが速いネット世界という今の時代ならではの特性にしっかり対応していると実感した。

### ◆日本IBM◆案内;



坪井俊樹(90回)他

IBM社のビジネスの規模、そして日本IBMが世界の10%を担う。社の魅力は社内で職種を変更できること、「IBM」社内では様々な役割があり、それぞれ個人の向き不向きがあるはず。「自分のやりたいことができる」環境はすごく素敵です。オフィス不在時でも仕事ができることは効率良く、時間を有効に使えると思いました。IBMer Valueの1つである「責任」を大切に、自分の所属や立場をわきまえ、1人の人間として責任ある行動をとれるようになりたいです。また、意外だったのは、今までIBMへ入社するのは理系社員だけだと思ってましたが、コンサルタントはじめ、コーポレートスタッフや営業担当、エンジニアと様々な特性の人たちを必要とする多くの職種があり、文系社員も多いと知りました。私はまだ、文理を決めてませんが、必ずしも理系に限らないと聞いて良かったです。



年会費納入者一覧 ; H29.4.1~H30.3.31

本会は、皆様の年会費で運営しております。ぜひ、納付のご支援ご協力をお願いします。(敬称略)

50回(2名) 上村光司 村山 一

51回(1名) 北村 茂

52回(3名) 小嶋嘉彦 齋藤泰五郎 廣川 勲

53回(2名) 中島常雄 堀 時男

55回(1名) 千葉繁治

56回(7名) 赤坂長弥 網干道雄 井上菊雄 加藤勝則 清野誠二 高見久義 皆川正男

58回(4名) 浅田秀雄 片桐欣哉 岸田 博 福田 満

59回(19名) 板井 裕 内田進一 梅沢貞雄 岡田 久 笠井 駿 菊池 裕 小池和男 小林栄作 小村幸久 茂泉喜彦 渋木幸三 清野孝一 関野光弘 高橋晴夫 高橋正利 高山昇二郎 長橋敏雄 納谷喜郎 花井 進

60回(18名) 池浦厚司 石田寛友 笠原 功 金山常吉 小林吾郎 齋木守雄 佐藤 孝 杉野剛博 高城英雄 中田 亨 野村保夫 長谷川秀三 早川貞夫 藤本 剛 堀部重明 松尾克己 丸山敏視 三国泰彦

61回(26名) 安宅久憲 阿部丑生 安藤友憲 伊藤英子

大橋恒夫 川崎栄一 木村政雄 草間光俊 熊谷隆幸 小池英彦 小林孝司 小林元雄 小川達人 佐藤敏夫 杉山由人(2) 助川孝雄 竹尾 昇 田中 宣 田中忠夫 時岡 泰 徳田晋也 長沼雄峰 中村正春 村岡公夫 村山 健 山田克浩

62回(11名) 石黒 恒 内山隆之 小池健治 近藤哲朗 曾我 健 手操 聰 藤原孝子 帆 莉宏典 嶺 國和 渡辺貢英 渡辺千里

63回(5名) 浅野康一 五十嵐房子 市川瑞夫 白倉 至 馬場政説

64回(26名) 青野 哲 岩 遼道夫 植村頼音(2) 牛木容三郎 遠藤治一 大石正晃 大倉孝男 太田健治 風間治雄 川井文夫 木山 清 坂井俊一 坂井 敬 佐藤 章 佐藤茂司 清水良男 須田嶺治 高橋正幸 田辺元彦 田村康一 西野真司 藤澤靖郎 星 満 野村保夫 真壁日史郎 榊瀉晴夫 松田 勲

65回(9名) 安藤宜清 五十嵐 徹 川合英次 小林 亙 鈴木衛士 濱田庄市 村木利夫 山本和親 横山修二

66回(9名) 石山芳春 稲月喜一 菊池重治郎 合田春美 (↑5年前分払) 古俣良寛 高橋 守 二宮靖彦 丹羽真彦 吉田六左エ門

67回(13名) 石井幹男/H28 石井幹男/H29 岡崎 功 小野勝義 片山忠一 北村紘一 清水雄伍 鶴賀政幸 寺井 宏 西 章 前田康久 皆川 学 三堀 浩

68回(11名) 上村嶺子 草野 佐 小日向信光 重野康人 竹石 肇(2) 長沼誠二 濱田庄司 村山 弘 渡邊公夫 渡邊千鶴 渡邊泰彦

69回(8名) 青木利祐 小黒朋弘 佐藤孝靖 菅沼 浩 高木敏之 永井晴美 樋口正臣 矢川一義

70回(8名) 池田好正 札木俊明 菅原一雄 鈴木正俊 関根俊明 福島 治 山宮士郎 渡部美那実

71回(11名) 雨宮孝弘 五十嵐 勤 内山博勝 太田 裕 柄沢 卓 齋藤 誠 高橋 稔 西尾レノン 堀 清忠 松田裕子 宮村達男

72回(21名) 阿部史郎 宇田川由美 小川省三 金巻裕史 神林賢治 黒木トシ子

66回(9名) 小嶋修一 小林正昭 近藤 正 齊藤俊正 篠原一博 島村礼子 菅又 滋 富田由李 中地光子(2) 野村耕治郎 西村正徳(2) 原 絢子 古山恒夫 宮村 晋 横堀 弘

73回(5名) 雨宮則夫 飯村 修 田辺研吉 山田美成 両川弘道

74回(38名) 藍沢幹人 青海 潔 味方 冽 池 一 池田正行 池田 裕 石井拓男 和泉 潤 伊藤 宏 岩城修平 大石憲一 大滝 均 小木恵介 糟谷好邦 片野忠一 菊池 隆 工藤義夫 解良和郎 小林淳子 坂井 靖 坂爪久男 佐藤俊栄 佐藤信秋 島津満里子 関川修一 高橋 保 高橋信郎 田村栄作 土屋彰義 堤 葵 西田百合子 西脇雄一 原 信一 萬歳芙美子 三田村健一 宮嶋良夫 若林源基 渡部終五(2)

75回(22名) 有菌順子 五十嵐 正 大塚恵子 笠井 忠 川上 滋 木戸 守 小泉慈行 後藤輝雄 白鳥十三(2) 鈴木正夫 高木久夫 野崎 茂 橋爪博美 服部 昭 馬場俊博 萬歳信行 深沢義和

76回(43名) 青山耕一 朝妻 厚 安達信策 阿部令一 阿部緑生 天野直二 板羽 健 近藤俊朗 大竹力三 尾張明美 加澤正樹 加野裕資 賀谷彰夫(2) 木下正仁 久住 治 蔵持典与 小泉直久 後藤徳広 小松澄子 小宮山信男 近藤壽邦 指田久美子 鈴木隆雄 鈴木茂夫 曾田修吉 竹内輝義 田中邦直 太原まゆみ 田村俊作 中川英二 長北 学 西沢芳樹 長谷川邦良 八田進二 浜田正継 林 誠 古川恒一 細谷洋一 丸山俊夫 湊 勝(2) 湯本雅惠 渡辺 拡 渡辺雅夫

77回(8名) 石川 彰 片山 等 北村一雄 佐藤 茂 仙 豊茂 時岡高志 長谷川 実 山田民夫

78回(13名) 石丸隆夫 太田秀樹 齋藤庫之丞 志藤洋子 篠田敏朗 須田幸子 高井博英 滝沢道夫 肥田博子 前田長生 松田元男(2) 村田光男 吉澤哲彦

79回(10名) 伊藤 毅 伊藤 敏 内山 修 小田章治

藤井建一 藤縄利勝 松田 清 八木 健 渡部一俊

河 正子 川上康夫 倉田由美 林 綾子 星名健二 丸山直昌

80回(7名) 大霜博之 長 正子 (↑カンパ含) 川名正敏 小林亮介 齊藤正春 清水洋一 竹本泰子

81回(6名) 荒川 洋 越野昌芳 玉木勝一 清水孝二 山田 徹 鰐淵 博

82回(10名) 柴森秀一 日下部朋子(2) 後藤雅則 小亦 斉 齋藤 滋 内藤 理 西山活子 福嶋 元 宮村伸一 吉田 実

83回(8名) 浅間芳朗 遠藤光郎 佐藤 扶 佐野栄二 高山佳郎 野呂映人 山口虎彦 横山 修(2)

84回(10名) 赤塚徳子(2) 朝倉仁樹 太田淑子 唐澤聖弥子 田崎正巳 田中昌夫 野口俊介 埴 昌樹 星野郁夫 星野紹英(2)

85回(9名) 浅田浩義 荒井裕子 今井豊重 奥村 基 塩田拓哉 田村 誠 花角英世 森 大輔 渡辺友紀子

86回(3名) 齋藤 健 宮腰重三郎 吉井正行

87回(4名) 清水忠明 長場 馨 南 正人 渡辺政城

88回(2名) 今井信一郎 櫛谷洋史

89回(7名) 岩野尚子 小山信也 紺野由紀子 松尾守恒 山崎松吾 山田敏昭 渡邊克彦

90回(16名) 雨宮喜美子 歌代真人 歌代幸子 木村和人 小杉 仁 小林 到 小林美奈子 齋藤 彰 齋藤結花 坪井俊樹 中村 泰 原 茂樹 樋口正史 森 豊 山内 薫 渡邊修也

91回(1名) 真保恵美子

92回(7名) 青木敦子 小倉 広 白坂和久 田沼智子 前田光俊 武藤富美子 和田誠司

93回(6名) 海部真美子 塚田信弘 野崎雅惠 服部寛子 藤沢健司 柳本和貴

94回(1名) 山崎健太郎

95回(1名) 山崎健太郎

96回(1名) 浜田恒平

99回(1名) 君和田俊裕

100回(1名) 佐藤直仁

101回(3名) 後藤 卓 鈴木由貴子 星野智則

102回(1名) 廣瀬千尋

103回(2名) 廣川俊之 鷺尾英一郎

104回(3名) 岩下菜穂子 黒木 聡 佐藤 晃

107回(1名) 小橋川嘉樹

111回(1名) 清水 倫

112回(1名) 浦野絵里

113回(3名) 川村 望 関 佑樹 佐藤あずさ

114回(1名) 上石純輝

115回(1名) 本井典子

116回(1名) 本間友香理

117回(3名) 榎本飛鳥 水間有紀 宗村 泰孝

118回(2名) 会田俊貴 和田直子

119回(2名) 埴 孝哉 米澤裕介

120回(2名) 今井悠喜 宮本真理子

121回(4名) 柄澤秀親 高橋 慧 中山晴彦 長谷川 巧

122回(5名) 加藤 爾 齋藤一樹 田中麟太郎 村上杏佳 八代 司

123回(4名) 五十嵐 将 小出拓郎 後藤明希(2) 野口美里

124回(7名) 阿部由基 後藤幸大 山後 緑 芹川武尊 寺井 悠 三村絢香 藻谷美月

125回(12名) 伊藤匡社 斉藤菜美 坂上真樹 谷井美優 塚田 源 中野真彰 藤田晃太郎 帆刈菜摘 松井周星 加藤 舞

107回(1名) 宮島歩実也 長谷川 健

111回(1名) 清水 倫

112回(1名) 浦野絵里

113回(3名) 川村 望 関 佑樹 佐藤あずさ

114回(1名) 上石純輝

115回(1名) 本井典子

116回(1名) 本間友香理

117回(3名) 榎本飛鳥 水間有紀 宗村 泰孝

118回(2名) 会田俊貴 和田直子

119回(2名) 埴 孝哉 米澤裕介

120回(2名) 今井悠喜 宮本真理子

121回(4名) 柄澤秀親 高橋 慧 中山晴彦 長谷川 巧

122回(5名) 加藤 爾 齋藤一樹 田中麟太郎 村上杏佳 八代 司

123回(4名) 五十嵐 将 小出拓郎 後藤明希(2) 野口美里

124回(7名) 阿部由基 後藤幸大 山後 緑 芹川武尊 寺井 悠 三村絢香 藻谷美月

125回(12名) 伊藤匡社 斉藤菜美 坂上真樹 谷井美優 塚田 源 中野真彰 藤田晃太郎 帆刈菜摘 松井周星 加藤 舞

以上 計514名 (~2018.03.31)

注)氏名の後の注釈(2)は2度納付。

目標 500名! 当同窓会は皆さまの「年会費」によって運営されています。年会費納付のご協力をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。